

令和6年度 事業報告

本会は、スポーツを普及、振興し、県民のウェルビーイング向上とスポーツ精神の高揚を図り、明朗快活なスポーツ文化の進展に寄与するため、スポーツを楽しむ環境の充実として、県民スポーツ機会の創出事業等を実施した。特に、パリ 2024 オリンピックでは、本県ゆかりの選手が 10 名出場し、県民へ勇気と感動を与えた。このような、全国や世界で活躍できる選手の更なる育成を目指し、TOYAMA アスリートマルチサポート事業においては、対象選手を拡大するなど、継続的な選手育成に努めた。また、管理施設においては、各種事業に取り組むとともに効率的な管理運営に努め、県民が身近で利用しやすい環境づくりを実施した。

その他、各種活動を加盟団体はじめ関係機関・団体等との連携・協働を図り、積極的・効果的に推進した。

I 法人運営

1. 諸会議等の開催

事業の適時適切な推進を図るため、次のとおり諸会議等を開催した。

会議名		回数	期 日	主な審議内容
役員会等	評議員選定委員会	1 回	令和 6 年 6 月 14 日（金）	評議員の選任
	評議員会	1 回	令和 6 年 6 月 19 日（水）	事業報告・決算 新規加盟団体の承認 役員の選任ほか
		2 回	令和 7 年 3 月 31 日（月）：書面審議	役員の選任
	理事会	1 回	令和 6 年 4 月 1 日（月）：書面審議	代表理事・業務執行理事の選定
		2 回	令和 6 年 5 月 29 日（水）	事業報告・決算 新規加盟団体の承認 役員・評議員の推薦ほか
		3 回	令和 6 年 6 月 19 日（水）	代表理事・業務執行理事の選定
		4 回	令和 6 年 7 月 12 日（金）：書面審議	規程改正
		5 回	令和 6 年 11 月 14 日（木）	表彰者選考
		6 回	令和 7 年 3 月 26 日（水）	事業計画・予算 役員の推薦ほか
専門委員会	総務委員会	1 回	令和 6 年 6 月 19 日（水）	事業報告・決算 新規加盟団体の承認 役員・評議員の推薦ほか
		2 回	令和 6 年 7 月 12 日（金）：書面審議	委員長・副委員長の選任
		3 回	令和 6 年 11 月 14 日（木）	表彰者選考
		4 回	令和 7 年 3 月 26 日（水）	事業計画・予算 役員の推薦ほか

	普及委員会	1 回	令和 6 年 7 月 12 日（金）：書面審議	委員長・副委員長の選任
		2 回	令和 6 年 11 月 6 日（水）	スポ協 TOYAMA 普及振興事業
	強化委員会	1 回	令和 6 年 4 月 15 日（月）	強化事業について
		2 回	令和 6 年 7 月 12 日（金）：書面審議	委員長・副委員長の選任
		3 回	令和 6 年 8 月 21 日（水）	未来のアスリート 20 期生募集
		4 回	令和 7 年 1 月 21 日（火）	未来のアスリート 20 期生 2 次選考
	スポーツ医・ 科学委員会	1 回	令和 6 年 7 月 12 日（金）：書面審議	委員長・副委員長の選任
		2 回	令和 7 年 3 月 24 日（月）：書面審議	事業報告・計画審議
	倫理・コンプライアンス 委員会	1 回	令和 6 年 7 月 12 日（金）：書面審議	委員長・副委員長の選任
		2 回	令和 7 年 3 月 6 日（木）	ガバナンスコードの遵守状況
特別 委員 会	国民スポーツ 大会出場選手 選考委員会	1 回	令和 6 年 8 月 6 日（火）	国スポ選手選考
		2 回	令和 6 年 8 月 21 日（水）	
		3 回	令和 6 年 8 月 27 日（火）	
		4 回	令和 6 年 12 月 18 日（水）	
		5 回	令和 7 年 1 月 21 日（火）	

2. 各種スポーツ関係団体の功労者及び優秀選手等の表彰

永年にわたり本県のスポーツ振興に貢献し、その功績が顕著と認められた者や本県のスポーツの向上に尽力し、その成績が特に優秀な団体及び個人を令和 6 年 12 月 2 日（月）に表彰した。

種 類	受賞者・受賞団体数	
特別表彰	個人 17 名	団体 1 団体
国スポ表彰	個人 9 名	団体 4 団体
感 謝 状	個人 22 名	—
計	個人 48 名	団体 5 団体

3. 組織運営の健全性の確保

顧問弁護士及び顧問税理士から日常的に専門的な指導を受けコンプライアンスの徹底とリスク管理を強化し、健全な組織運営に努めた。

さらに、顧問弁護士による加盟団体を対象とした無料法律相談会を、競技団体の経理については、より適正に事務処理を行うための顧問税理士による会計諸帳簿（現金出納簿や領収書等）検査を実施し、改善を要する事項等について個別に指導した。

（１）顧問弁護士による無料法律相談会

期 日	実績数
令和６年６月１４日（金）	—
令和６年９月１３日（金）	２団体
令和６年１２月１３日（金）	—
令和７年３月７日（金）	—

（２）顧問税理士による会計諸帳簿検査

期 日	対象団体
令和６年１１月１３日（水）	スケート連盟、ホッケー協会
令和６年１１月１４日（木）	相撲連盟、バドミントン協会
令和６年１１月１５日（金）	馬術連盟、山岳連盟、トライアスロン協会
令和６年１１月１８日（月）	銃剣道連盟、クレール射撃協会

４．スポーツガバナンスコード遵守状況

日本スポーツ協会が定めるスポーツガバナンスコード（６原則 １７項目）に加え、倫理・コンプライアンス委員会の設置や加盟団体の処分規則の制定等、既に取り組んでいる項目を加えた １３原則 ３８項目について、令和７年３月 ２８日（金）に自己説明・公表（令和６年度分）を実施した。

Ⅱ 公益目的事業

１．スポーツ普及振興事業

県民が生涯にわたりスポーツに親しめるよう、健康レベル・体力レベルに応じた事業を展開した。各事業の実施については、専門性を有する理事等による専門委員会及び特別委員会を構成し、意見等を反映しながら、各分野の資格を有する当協会の職員が中心となって各事業を企画・立案し、関係団体と連携を図りながら事業を行った。なお、指導者のスポーツ指導における暴力の根絶に向け、本協会が実施する各種研修会等あらゆる機会を通して、周知徹底を図った。

（１）県民のスポーツ振興及び広報啓発事業

① スポーツに関する広報啓発事業

各種イベントや行事予定など、スポーツに関する情報を広く県民に周知するために、次の広報誌等を作成するとともに、誰もが必要な情報等を簡単に検索できるよう、親しみやすいホームページの充実を図った。

ア. 広報誌の発行

名 称	発行部数	配布先	発行回数	発行元
スポ協 TOYAMA	2,000 部/回	加盟団体、市町村教委、 未来のアスリート発掘事業修了生 ほか	年 1 回	県スポーツ協会
スポーツ パレス便り	2,000 部/回	市町村関係団体、県立学校 ほか	年 11 回	県総合体育センター
ジムワールド	1,400 部/回	県立学校、近隣企業ほか	年 4 回	県西部体育センター
HEALTH SWIM in TAKAOKA	1,800 部/回	県立学校、近隣企業ほか	年 4 回	県高岡総合プール
スポーツリーダー とやま	2,500 部/回	公認スポーツ指導者、加盟 団体、市町村教委ほか	年 1 回	県公認スポーツ 指導者協議会

イ. インターネットを利用した情報発信

各種スポーツ情報ネットワークの中核として、機能の充実を図った。

(ア) 本会HP上での各種スポーツ情報の発信

(イ) 地域スポーツ団体やスポーツ指導者パスネットとやまの情報発信

(ウ) メールを利用したスポーツに関する情報（JISS や日本スポーツ協会等）の発信

(エ) 上記（ア）～（ウ）と、スポーツ情報ネットワーク《県委託事業：県総合体育センター》を活用し、本県の各種スポーツ情報の充実を図った。

② エンジョイスポーツサポート事業

地域住民の誰もが参加できるスポーツ活動に対し助成を行い、スポーツに対する興味・関心を高めるとともにスポーツ人口の拡大を図った。

実施市町村	実施事業	参加者数
富山市ほか 8 市町村	大人の部活～ランニング部～ ほか 11 事業	4,841 名

③ 生涯スポーツ推進事業

県民が生涯にわたり、明るく豊かで、活力ある生活を営むために、それぞれの興味、関心、適性等に応じてスポーツを生活の中に位置づけ、主体的にスポーツ活動を楽しむことができる環境づくりの推進を図った。

ア. 巡回指導・視察 こすぎ総合スポーツクラブきらり ほか 7 クラブ

イ. 研修会の開催

(ア) 地域スポーツ指導者研修会

期 日	会場・講師・内容	受講者数
令和6年7月13日（土）	県総合体育センター 澤 聡美 氏 富山大学学術研究部教育学系 准教授 実技・講義 「幼児期から運動習慣を形成するために 地域スポーツにできること」	23 名
	県総合体育センター 牧 直弘 氏 NPO 法人日本ウェーブストレッチ協会 理事長 実技・講義 「ウェーブストレッチングを活用した、姿勢・機能改善の為の筋膜リリース&ストレッチ&筋トレ法」	21 名

（イ）地域スポーツスキルアップ研修会 ※富山県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会と共同開催

期 日	会場・講師・内容	受講者数
令和7年1月20日（月）	県総合体育センター 明石 あおい 氏 株式会社ワルトリー・デザイン 代表取締役 講演 「地域・スポーツの広報戦略 ～自分たちに適した広報とは～」	18 名
令和7年2月24日 （月・休）	県総合体育センター 谷塚 哲 氏 REGISTA SPORTS MANAGEMENT 代表 講演 「スポーツ団体のリスクマネジメント」	4 名

ウ．指導者人材バンクパスネットとやまの運用

「指導者人材バンクパスネットとやま」登録者情報を更新するとともに、指導依頼の問い合わせ（照会）に関する連絡をした。

エ．総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度登録審査委員会

令和7年2月14日（金）に令和7年度登録について書面審議し、登録28クラブ、登録準備段階である準登録2クラブを承認した。

（2）県民体育大会、県民スポーツ大会開催事業

広く県下にスポーツを普及・振興し、県民の健康と体力の増進並びに競技力の向上を図り、明るく豊かな県民生活の創造に寄与するため、次のとおり開催した。

① 第77回富山県民体育大会（夏季競技）

季	競 技	期 日（中心会期）	会 場	参加者数
夏季	陸上競技 ほか 41 競技	令和 6 年 7 月 27 日（土） ～ 7 月 29 日（月）	富山市 ほか 9 市 4 町	20,529 名

大会成績 （二部郡市対抗）	区分	1 位	2 位	3 位
	一般	富山市	高岡市	射水市
	中学	富山市	高岡市	砺波市

② 第 78 回富山県民スポーツ大会（冬季競技）

季	競 技	期 日	会 場	参加者数
冬季	スケート競技 ほか 2 競技	令和 6 年 10 月 21 日（月） ～令和 7 年 2 月 14 日（金）	富山市 南砺市 長野県 1 市 1 村	456 名

（3）スポーツ指導者の養成

① スポーツ指導員養成講習会開催事業

県民のスポーツニーズが多様化する中で、専門性をもった指導員の養成が望まれているところであり、（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度の資格取得講習会を開催した。

ア．日本スポーツ協会公認指導者養成講習会

期 日	資格名	競技名	会 場	参加者数
令和 6 年 8 月 14 日（水） ～令和 7 年 1 月 18 日（土）	コーチ 1	バレーボール ほか 3 競技	県総合体育センター ほか 3 会場	68 名
令和 6 年 10 月 6 日（日） ～令和 6 年 11 月 17 日（日）	コーチ 2	テニス 共通科目Ⅱ	県総合体育センター ほか 1 会場	18 名

イ．富山県公認スポーツ指導者研修会

期 日	会場・講師・内容	受講者数
令和 6 年 12 月 1 日（日）	アイザック小杉文化ホール ラポール 【講演Ⅰ】 松尾 哲矢 氏 立教大学 スポーツウエルネス学部 教授 「プレイヤー・センターの推進と指導者の役割」 【講演Ⅱ】 舘川 美貴子 氏 日本スポーツ協会 公認スポーツ栄養士 「スポーツと栄養 アスリートに望ましい食事と試合の時の食事」	234 名

（4）スポーツ少年団育成事業

日本スポーツ少年団が掲げる「一人でも多くの青少年にスポーツの遊びを提供する」、「スポーツを通して、青少年のからだところを育てる」という理念に基づき、本会が設置する富山県スポーツ少年団において、地域社会全体で子どもたちを育て、将来にわたり健全な生

活を送れるよう、各種事業を展開した。

① 組織の充実

ア. 組織の整備強化

(ア) スポーツ少年団指導者顕彰事業

期 日	会 場	受賞者数
令和7年2月24日 (月・休)	県総合体育センター	9名

イ. 活動の充実

(ア) 富山県スポーツ少年団競技別総合交流大会

期 日	実施競技	会 場	参加者数
令和6年6月8日(土)～ 11月17日(日)	サッカー競技 ほか 11競技	富山市 ほか5市1町	2,455名

(イ) 地域交流促進事業

期 日	開催地	実施スポーツ 少年団	参加者数
令和6年7月26日(金)～ 28日(日)	静岡県島田市総合スポーツセンター ほか	氷見市	52名
令和6年7月27日(土)～ 29日(月)	南砺市福野体育館 ほか	南砺市	146名
令和6年8月3日(土)～ 4日(日)	富山南総合運動公園	富山市	300名
令和6年8月24日(土)～ 25日(日)	アルビス小杉総合体育センター ほか	射水市	88名
令和6年12月25日(水)～ 27日(金)	ありそドーム ほか	魚津市	79名
令和6年11月24日(日)	南砺市福光総合グラウンド	南砺市	76名

(ウ) 母集団育成事業

期 日	実施スポーツ少年団	参加者数
令和6年6月22日(土)～ 令和7年1月18日(土)	氷見市、射水市、小矢部市、上市町	194名

② 指導体制の整備

ア. 各種講習会・研修会

(ア) 第7回ジュニアスポーツフォーラム指導者全国研究大会

期 日	開催地	参加者数
令和6年6月16日(日)	東京都・オンライン	2名

(イ) 北信越ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会

期 日	開催地	参加者数
令和 6 年 11 月 16 日（土）	長野県	6 名

(ウ) 富山県スポーツ少年団指導者研修会

期 日	会場・講師・内容	受講者数
令和 7 年 2 月 24 日 (月・休)	県総合体育センター 伊藤 秀志 氏 日本スポーツ少年団指導者協議会 運営委員長 「スポーツ少年団の魅力を発信し、 活動環境を整える」 谷塚 哲 氏 REGISTA SPORTS MANAGEMENT 代表 「スポーツ団体のリスクマネジメント」	58 名

イ. スタートコーチ（ジュニア・ユース）養成講習会

期 日	会場・内容	受講者数
令和 6 年 10 月 4 日（金）～ 11 月 1 日（金）	オンライン（動画視聴、確認テスト）	135 名
令和 6 年 11 月 9 日（土） 令和 6 年 12 月 8 日（日）	県総合体育センター 集合学習 （講義総括、グループワーク）	

③ 交流活動の推進

ア. 国際交流の推進

日独スポーツ少年団同時交流

	第 51 回日独スポーツ少年団同時交流	
	派遣事業	受入事業
期日	7 月 29 日（月）～8 月 15 日（木）	7 月 30 日（火）～8 月 3 日（土）
会場地	ドイツ連邦共和国 南バーデン地方	入善町
人数	2 名	10 名

イ. 全国的・地域的交流の推進

(ア) 全国交流大会

期 日	実施競技	開催地	参加者数
令和 6 年 9 月 14 日（土） ～9 月 16 日（月・祝）	ホッケー	東京都	45 名
令和 6 年 12 月 27 日（金） ～12 月 30 日（月）	バレーボール	愛媛県	14 名
令和 7 年 3 月 28 日（金） ～3 月 30 日（日）	剣道	大分県	8 名

(イ) 北信越ブロック交流大会

期 日	実施競技	開催地	参加者数
令和 6 年 7 月 6 日 (土) ～11 月 3 日 (日)	軟式野球競技 ほか 4 競技	富山県 ほか 1 県	100 名

(5) 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会運営事業

令和 6 年度登録 27 クラブ、準登録 3 クラブ (令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日認定)が総合型地域スポーツクラブの公益性を地域社会に周知するとともに、地域課題の解決、各クラブの安定的な運営を目指し、各種事業を展開した。

① 組織の充実

地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業

期 日	視察先及び内容	参加者数
令和 6 年 12 月 18 日 (水) ～19 日 (木)	NPO 法人ウエブスポーツクラブ 21 西国分(福岡県) 「共生スポーツ社会への構築」 神戸親和大学 (兵庫県) 「部活動地域移行による中学生年代への スポーツ環境整備」	5 名

② 交流活動の推進

とやま週イチスポーツ推進事業

期 日	実施クラブ	実施教室	参加者数
令和 6 年 6 月 1 日 (土) ～令和 7 年 1 月 25 日 (土)	NPO 法人福光スポーツクラブ ほか 13 クラブ	0～3 歳児の親子 ふれあい教室 ほか 20 教室	3,742 名 (延べ人数)

③ クラブ活動活性化の推進

富山県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会研修会【再掲】

期 日	会場・講師・内容	受講者数
令和 7 年 1 月 20 日 (月)	県総合体育センター 明石 あおい 氏 株式会社ワルトリー・デザイン 代表取締役 講演 「地域・スポーツの広報戦略 ～自分たちに適した広報とは～」	18 名
令和 7 年 2 月 24 日 (月・休)	県総合体育センター 谷塚 哲 氏 REGISTA SPORTS MANAGEMENT 代表 講演 「スポーツ団体のリスクマネジメント」	4 名

(6) 県民スポーツ機会の創出事業（「Enjoy！スポーツとやま」の開催）

県民のスポーツ活動への参加を促進するため、体験型のスポーツイベントを開催し、日常的に運動やスポーツに取り組む機運や意欲を高め、県民が身近にスポーツに親しむ機会を創出した。

① 運動やスポーツに親しむ機会の提供（「Enjoy！スポーツとやま 2024」）

期 日	会場・内容・実施団体	参加者数
令和 6 年 9 月 23 日 (月・休)	県総合運動公園 (屋内グラウンド、陸上競技場、ファミリー広場等) ①スポーツ教室：11 団体 16 教室 ②スポーツ体験：25 団体 ③プロモーター：1 名 ④出店ブース等：9 団体 総合型スポーツクラブ：7 クラブ 競技団体：4 団体 生涯スポーツ協議会：8 団体 障害者スポーツ協会：1 団体	6,063 名 (延べ人数)

(7) アスリート（中学生年代等）のスポーツ環境整備

段階的に地域のスポーツ団体などに部活動を移行する「部活動の地域移行」が実施されることを受け、地域移行の課題、実施していくために必要なことなどについて検討する。

① 情報交換会の開催

各市町村における部活動改革に伴う中学生年代のスポーツ環境の現状や課題等を、市町村体育スポーツ協会と情報共有し、施設利用や指導者確保、学校との関わり等、今後対応等について検討した。

期 日	会場・内容	参加者数
令和 6 年 8 月 20 日 (火)	県総合体育センター 会議室 「中学生年代のスポーツ環境に関する 情報交換会」 〈参加者〉県教育委員会保健体育課 市町村体育・スポーツ協会 事務局ほか	15 名

(8) 能登半島地震に関する被災地支援事業

(公財) ゴールドウイン西田東作スポーツ振興記念財団からスポーツ機会を維持することを目的とした助成事業があり、スポーツ用品の修理や購入、日常的に利用する活動場所以外での施設使用料等、7 団体へ支援を行った。

2. スポーツ強化推進事業

国民スポーツ大会や全国大会等で優秀な成績を収めることは、県民に大きな夢と感動を与え、大きな活力となる。このことから、国民スポーツ大会をはじめ、全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成を目指し、関係団体と連携を図りながら、合宿・遠征事業をはじめ各種強

化事業を実施し競技力向上に努めた。

(1) 県民の競技力向上の推進

① 国民スポーツ大会等開催事業

ア. 第45回北信越国民スポーツ大会

第45回北信越国民スポーツ大会（石川県開催）は、30競技40会場で開催された。

(ア) 大会概要

会 期	早期開催 令和6年5月4日（土・祝）～8月22日（木） 中心会期 令和6年8月23日（金）～25日（日）
開催地	石川県下6市2町 福井県1市1町 富山県1市
実施競技	カヌー競技 ほか29競技
参加人数	選手・監督724名 本部・顧問19名 計743名

(イ) 選手団等

喜多 進 団長 ほか742名

第78回国民スポーツ大会本大会ブロック代表数 45代表獲得

イ. 第78回国民スポーツ大会

第78回国民スポーツ大会本大会は、男女総合成績（天皇杯）は44位、女子総合成績（皇后杯）は39位であった。

また、第79回国民スポーツ大会冬季大会のスケート競技会・アイスホッケー競技会は岡山県岡山市・倉敷市・群馬県渋川市、スキー競技会は秋田県鹿角市で開催され、冬季大会終了時点で男女総合成績は20位である。

(ア) 大会概要

回	季		期 日	開催地	成 績
78	本 大 会	会期前Ⅰ	令和6年9月5日（木） ～9月17日（火）	佐賀県	入賞数49※
		会期前Ⅱ	令和6年9月21日（土） ～10月1日（火）		
		中心会期	令和6年10月5日（土） ～10月15日（火）		
79	冬 季 大 会	スケート・ アイスホッケー	令和7年1月26日（日） ～2月5日（水）	岡山県岡山市・倉敷市 群馬県渋川市	入賞数5
		スキー	令和7年2月13日（木） ～2月16日（日）	秋田県鹿角市	入賞数7※

※競技別総合成績を含む

(イ) 選手団等

本大会 新田 八朗 団長 ほか 417 名

冬季大会

- ・スケート・アイスホッケー競技会 田中洋一郎 団長 ほか 36 名
- ・スキー競技会 田畑 裕明 団長 ほか 68 名

② 競技力向上事業

ア. 国民スポーツ大会へ向けた選手強化

(ア) 合宿・遠征事業

強化指定選手等の強化を図るため、県内合宿・県外遠征・県外優秀チーム招へいを計画的に実施した。

(イ) 強化指定事業

選手指定：少年種別 37 競技 667 名 成年種別 41 競技 520 名 計 1,187 名
スタッフ指定：41 競技 総監督 23 名 各種別監督 122 名 コーチ 73 名 計 218 名

(ウ) アドバイザー・トレーナー招へい事業

7 競技に 7 名のアドバイザー、20 競技に 24 名のトレーナーを招へいし、強化練習会等で指導を受け、県内指導者の資質の向上と本県選手の競技力向上を図った。

(エ) 選手強化対策補助事業

国民スポーツ大会での上位入賞を目指し、競技団体ヒアリング等を通じて各競技団体の現状の把握に努め、効率よく強化事業が展開されるよう競技団体との連携を密にした。また、競技団体強化担当者が、各種全国大会等での競技力調査を実施し、本県の戦力分析や優秀選手の発掘に努めた。

イ. 将来に向けた優秀選手の育成

エリートユース育成事業

中学校運動部活動の地域展開を見据え、ジュニア年代の選手育成を図るため、新たに次年度以降に活躍が期待される中学生及び高校生を対象に、県内の優秀指導者による県内合宿及び県外遠征等を実施し、効果的な選手育成・強化を図った。

内 容	競技数	参加者数
合宿・遠征等	スケート競技 ほか 27 競技	1,038 名

③ 未来のアスリート発掘事業

スポーツ能力に優れた児童を見出し、競技団体、学校、家庭と連携を図りながら、将来のスポーツ界を担う人材育成のサポートを行った。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で見送られていた味の素ナショナルトレーニングセンター等の視察事業を 5 年ぶりに実施した。

ア. 19 期生 55 名（小学 6 年生）とジュニア指定 8 名（小学 5 年生）（令和 6 年 4 月指定）

(ア) 育成プログラムの実施

	実 施 内 容	実施回数	会 場
身体能力育成プログラム	「コーディネーショントレーニング」 (一社) コーチングバリュー協会 東根 明人 氏 大羽瑠美子 氏	2 回 (2 回)	県総合体育センター 山野スポーツセンター
	(公財) 富山県スポーツ協会 中山 雄大 氏	2 回	
	「コンディショニング」 (公財) 富山県スポーツ協会 山地 延佳 氏 県西部体育センター 宮島 秋子 氏	3 回 1 回	
	「ファルトレクトレーニング」 (公財) 富山県スポーツ協会 柿谷 朱実 氏	3 回	
知的能力育成プログラム	「メンタルトレーニング」 奈良教育大学 岡澤 祥訓 氏	5 回 (1 回)	
	「スポーツ栄養」 日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士 舘川美貴子 氏	3 回 (1 回)	
	「スポーツ障害」 富山労災病院 山上 亨 氏	1 回	
	「コンディショニングづくり」 女性クリニック We 富山 鮫島 梓 氏	(1 回)	
	「コミュニケーション」 (株)プロジェクトアトベンチャー・ジャパン 難波 克己 氏	1 回	
	「スポーツ講演会」 いちご(株) 村上 英士朗 氏 (ウェトリフィング® 競技)	1 回	

※実施回数欄の () 書きは保護者向けプログラム

(イ) 特別プログラム

味の素ナショナルトレーニングセンター (NTC) 視察事業 (東京都)

期日：令和 6 年 12 月 15 日 (日)

場所：味の素ナショナルトレーニングセンター ほか

内容：ハイパフォーマンススポーツセンター見学

アスリートライフスタイルの講義

人数：19 期生・ジュニア指定者 56 名 (男子 33 名・女子 23 名)

イ. 20 期生 50 名 (令和 6 年度 5 年生) とジュニア指定者 10 名 (令和 6 年度 4 年生)

20 期生は、令和 7 年 4 月からプログラムを開始する計画で、募集選考を行った。ジュニア指定者については、競技団体からの推薦を受けた児童について書類選考を行った。

実 施 内 容	実施日	会 場
第1回企画委員会	令和6年 8月 6日 (火)	県総合体育センター
第2回企画委員会 (1次選考)	令和6年12月18日 (水)	
測定会 (2次選考に向けた)	令和7年1月 7日 (火)	
第3回企画委員会 (2次選考)	令和7年1月21日 (火)	
体力測定・オリエンテーション	令和7年2月23日 (日)	

ウ. 奨励賞受賞者の選考

1期生から18期生の修了生を対象に、各種スポーツ大会で活躍し、その功績が顕著と認められた4名を選考した。

エ. 修了生サポートプログラム

・体力測定2回 (8月・2月) 141名

・講習1回 1月18日 (土) 38名

スポーツ栄養講習「ジュニアアスリートのための効果的な栄養摂取」

講師：日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士 舘川 美貴子 氏

特別講座「ジュニアアスリートのトレーニングで考慮すべきこと」

講師：(公財) 富山県スポーツ協会 柿谷 朱実 氏

オ. 修了生活躍状況の掲示

県総合体育センター正面入口横にボードを設置し、修了生の活躍状況を掲示した。

※現在19期生まで累計1,214名 (うち 日の丸をつけた選手82名)

④ 競技スポーツ振興事業

小学生、中学生を対象に、スポーツ教室、記録会及び練習会を実施し、競技スポーツに対する興味・関心を高めることにより、競技スポーツ人口の拡大を図った。

内 容	競技数	参加者数
記録・練習会	スケート競技 ほかに33競技	11,047名
教 室	スケート競技 ほかに18競技	6,678名

⑤ TOYAMAアスリートマルチサポート事業

本県競技力の一層の向上を目指し、対象者を強化指定選手、エリートユース選手に拡大し、各種強化事業と併せ、選手の発育・発達段階に応じた適切で、より効果的な医・科学的サポートを実施するとともに、県総合体育センター、県西部体育センター及び県高岡総合プールと連携し、選手へのサポート体制のさらなる拡充に努めた。また事務局を本部及び県総合体育センターの共同運営により体制強化を図り、監督はじめコーチ・スポーツドクター・トレーナー等と連携を密にし、個々の選手の体力測定結果等に基づくスポーツ医・科学的サポートを積極的に展開し、全国や世界の檯舞台で活躍できるアスリートの育成に取り組んだ。

また、国(スポーツ庁)が競技力向上事業の一環として進めている「ハイパフォーマンスセンターネットワークの構築」事業において、県総合体育センターが日本スポーツ振興セン

ターからHPSC（ハイパフォーマンススポーツセンター）ネットワーク機関（アスリート支援：体力測定）に指定（令和4年10月26日～令和10年3月31日）されており、ナショナルチームに対する体力測定を実施した。

ア．委員会等の開催

会議名	期 日	実施内容
委員会	令和6年5月10日（金）	R5事業報告、R6事業計画
	令和7年3月14日（金）	R6事業の総括及び課題、R7事業計画
スタッフ ミーティング	令和6年8月31日（土）	競技団体の取組みについて情報交換
	令和7年3月8日（土）	活動事例報告

イ．サポート内容

区分	主な内容	人数・日数等
医・科学的サポート	トレーニング・測定サポート 栄養サポート メンタルサポート アンチ・ドーピング研修 ほか	41 競技ほか 1,933 名
サポートスタッフ 中央講師の派遣	北信越国民スポーツ大会、国民スポーツ大会、 JOC 大会へのスタッフ派遣	12 競技 87 日

ウ．スポーツ医・科学調査、研究

期日	内容（会場）	参加者
令和6年7月4日（木）	JAPAN Sports Week2024 最新測定機器等視察（東京都）	専門員2名
令和6年8月3日（土）～8日（木）	全国高校総体 バスケットボール競技等 サポート体制視察（福岡県ほか）	専門員1名
令和6年11月3日（日） ～4日（月・休）	HPSC 地域連携事業情報交換会（北海道）	専門員1名
令和7年2月5日（水）～7日（金）	JISS 体力測定情報共有会 2024（東京都）	専門員3名
令和7年3月18日（火）	岐阜県スポーツ科学センター スポーツ医・科学サポート体制等視察 （岐阜県）	専門員3名

⑥ スポーツ医・科学研修会等開催事業

ア．アンチ・ドーピング教育・啓発

国民スポーツ大会選手を中心としたアンチ・ドーピング教育及び啓発活動の実施を通して薬物乱用や誤用の認識を高めるため、強化指定選手、指導者及び保護者等を対象として、富山県薬剤師会所属のスポーツファーマシストによる講習会を県総合体育センター

ほか5会場で開催し、健全なスポーツ活動を推進した。

期 日	競技団体	講 師	参加者数
令和6年6月22日(土)	剣道連盟	濱田朱美子 氏	32 名
令和6年7月13日(土)	フェンシング協会	福森 友一 氏	28 名
令和6年7月14日(日)	水泳連盟(飛込) 相撲連盟	藤岡俊太郎 氏	23 名
令和6年7月23日(火)	バレーボール協会	今村 理佐 氏	18 名
令和6年8月11日(日)	自転車競技連盟	宮林 紀子 氏	17 名
令和6年11月23日(土・祝)	弓道連盟	小池 淳平 氏	43 名

イ. 問診票による健康診断

県スポーツ協会が指定する強化指定選手及び国民スポーツ大会選手 1,137 名に対し、問診票による健康状態調査を実施した。女性アスリートには、女性アスリート用の問診票も活用している。

⑦ 全国的大会等開催助成事業

全国的・国際的大会や日本リーグ等レベルの高い大会への開催運営費を補助した。

実施期間	令和6年8月～令和7年3月
実施競技	ダンススポーツグランプリ in 富山 ほか8大会

⑧ 海外派遣選手激励事業

スポーツをする選手たちに夢と希望をあたえるとともに、スポーツ人口の拡大に繋げることを目的に、国際大会へ日本を代表として出場する選手・監督に激励金を交付した。

国際大会	助成大会	パリオリンピック ほか18大会
	派遣人数	31名
	派遣先	フランス ほか 16ヶ国

⑨ スポーツ国際交流事業

県教育委員会及び関係競技団体等と連携し、8月6日から11日に開催した第28回環日本インターハイ親善交流大会を通して、本県と参加した環日本海諸国の高校生とのスポーツ交流ならびに競技力の向上を図った。

⑩ パリ2024オリンピック特別対策事業

オリンピック代表に自国開催以外で最多の10名が選ばれ、本県選手の関係競技団体等が

行う現地激励や競技力調査等に対して支援を行った。

さらに、選手の写真付きバナーを県総合体育センターエントランスに展示し、県民のオリンピックへの機運醸成に努めた。

3. スポーツ施設を活用した各種事業と効率的な管理運営

県民が安全かつ快適にスポーツができるよう県総合体育センターをはじめとするスポーツ施設の環境を整え、県民の生涯スポーツの普及振興を図るとともに、健康・体力・生きがいに寄与するため、次の各種事業を実施した。

(1) スポーツ施設等を活用した各種事業と効率的な管理運営

① スポーツ施設管理運営事業

施設管理業務とスポーツ振興のソフト事業を一体的に推進するとともに、効果的かつ効率的なサービスの提供に努めた。また、スポーツ人口の拡充を図るため、スポーツの日に「スポーツフェスティバル」を開催するなど、利用者のニーズに合わせた管理運営を実施した。また、高岡総合プールでは開館 30 周年を記念した事業も実施した。

指定管理する県営体育施設の利用人数は、471,363 名と前年度比、約 2.9%増加したものの、総合体育センター大アリーナ照明 LED 化更新工事の影響もあり、コロナ化前の令和元年度と比べると約 88%に留まった。

ア. 県営体育施設（指定期間 3 年間 令和 5 年 4 月～令和 8 年 3 月）

施 設 名	利用人数	施 設 名	利用人数
県総合体育センター	225,315 名	県西部体育センター	124,911 名
県高岡総合プール	88,854 名	県営富山弓道場	11,599 名
県漕艇場	16,630 名	県上市カヌー競技場	4,054 名
計		471,363 名（102.9%）	

※（ ）書きは対前年比

イ. 県スポ協体育施設

施 設 名	利用人数	施 設 名	利用人数
アオイスportsハウストレーニング場	7,783 名	山野スポーツセンター	3,497 名
屋内相撲練習場	1,224 名		
計		12,504 名（112.5%）	

※（ ）書きは対前年比

(2) スポーツ教室開催事業

スポーツを楽しむことができる場を広く提供するとともに、健康づくりを支援するため、各種教室を開催した。

また、漕艇場、カヌー場では体験会で競技の指導も行い、競技を始めるきっかけづくりや普及促進にも取り組んだ。

スポーツ教室等開催事業の実施状況

施 設 名	教 室	実施回数	延べ受講者数
県総合体育センター	親子チャレンジ ほか1教室	48回	672名
県西部体育センター	E n j o yバドミントン ほか6教室	81回	626名
県高岡総合プール	初級スイム ほか52教室	1,464回	19,518名
県営富山弓道場	弓道教室	98回	1,217名
県漕艇場	タイムトライアル体験会	2回	337名
県上市カヌー競技場	カヌー体験教室	8回	152名
計		1,701回	22,522名

Ⅲ 収益目的事業

本会が管理運営する県総合体育センターほか5施設に自動販売機を設置し、飲料等を提供した。

また、本会の公益目的事業の推進に資するための付随事業として、日頃スポーツに親しみのない県民がスポーツ施設を知っていただくことで、今後のスポーツ活動に拍車をかけるとともに、個々の体力に応じてスポーツに親しむ契機になることを期待し、管理運営するスポーツ施設の会議室等を公益目的事業以外で貸与した。